

## 調査研究目的

- ・ 毎年、春先は空気が乾燥し林野火災が多発する傾向にあるが、特に平成14年は、林野火災が多発し（前年の2倍）、憂慮すべき事態となるとともに、林野火災の態様も異常気象により、従来と異なる様相を呈している。
- ・ 一方で、ヘリコプターの早期大量投入による林野火災への空中消火の効果に対し、高い評価が出たことから、林野火災の発生の抑制と拡大防止に向けて、そのメカニズムの分析や既往の対策事業等を点検するとともに、ヘリコプターを活用した効果的な林野火災対策の再構築を目的に調査研究を実施した。

## 課題の検討方法

- ・ 近年の林野火災の発生・拡大状況、平成14年の長野県松本市及び岐阜県岐阜市等における大規模林野火災事例、関係省庁（消防庁、林野庁、防衛庁、気象庁）における林野火災対策の実態調査を行い、抽出された課題について検討を行った。

## 検討課題

### 【林野火災の予防対策のあり方】

○林野火災に関する予報等の発表体制

○林野火災の警戒活動

○森林の保全管理・施設整備

○森林ボランティアの活用

### 【林野火災の消火活動のあり方（ヘリコプターの活用）】

○ヘリコプターの要請

- ・ ヘリコプター要請の判断
  - ⇒ 早期要請が重要、要請基準や応援機数判断目安の検討
- ・ ヘリコプター要請時に共有すべき情報の検討
- ・ ヘリコプター要請側の受入準備
  - ⇒ 離着陸場、給水場所、給油場所・燃料の確保

○指揮・情報連絡体制

- ・ 現地指揮本部を中心とした指揮・調整系統
- ・ 情報連絡手段（無線）の確保
- ・ 情報の収集と共有

○ヘリコプターの運用

- ・ 消防・防災ヘリコプター間の連携
- ・ 自衛隊ヘリコプターとの連携
- ・ ヘリコプターと地上部隊との連携
- ・ 安全対策

○空中消火の方法

- ・ 薬剤使用の現状と課題
- ・ 空中消火戦術（直接消火・間接消火）

○空中消火資機材の整備

○効果的消火活動の推進に向けての課題

【新しい技術を用いた情報の収集・共有】